

タンザニア ニュースレター

～PAMOJA～

Vol 1 2015 年 4 月～6 月



最近の主な出来事

3 月 29 日 派遣祝福式

4 月 2 日 タンザニア、ダルエスサラーム着

4 月 6 日 スワヒリ語学研修開始

6 月 4 日 免許書き換え、ビザ(滞在許可)手続き完了

派遣祝福式

今までお世話になったたくさんの方に、今後の働きを祈って送り出していただき、感謝でした。この後 2 日間で、急いで、引越と出国準備をしました。



派遣祝福式 溝の口キリスト教会の皆さんと

タンザニア着、宿舎へ入寮

ダルエスサラーム郊外の救世軍(キリスト教施設)の宿舎で生活を始めました。私たちの家は、敷地に点在する小さなロッジの一つです。他に、食堂と、教会と、障害のある小学生のための寄宿学校と、保育園と、学校付属の小さな診療所まであります。食事は 5 種類くらいしかありませんが、まあまあ美味しいです。着いた直後から本格的な雨期になり、停電と断水がしばしばありました。



宿舎と、ある日の昼食。二人で一人前で OK

スワヒリ語学研修

2 ヶ月半で、初級～上級コースまで、ゆっくりゆっくり進んできました。日記を書いたり、簡単な意思疎通は出来るようになりましたが、ネイティブのスワヒリ語会話ははやくて、まだまだ聞き取るには時間がかかりそうです。最初の頃の授業では、よく、敷地内のタンザニア人へテーマについてインタビューすることが宿題になりました。夫も奮闘中です。



授業中。ケーキのお裾分けをいただきました



タンザニアの結婚式に参加

夫のタンザニア日記

早いものでここタンザニアに来て2ヶ月が経ちました。停電や水浴びにも慣れましたが、語学だけは厳しい毎日です。焦っても仕方がないので、ある方の座右の銘「死ぬこと以外かすり傷」を思い出しては笑い過ごしています。本拠地となるタボラで何が待っているのか。時に身を任せながら歩んで行きたいと思います。

滞在・仕事のための諸手続き、完了！

私たちが7月から仕事をする予定のタボラ州から、お世話になる保健局長さんが、バスで14時間の旅をして、計3回もダルエスサラームまで来て下さいました。医師免許/看護師免許の書き換えと、ビザ(滞在許可証)取得のためです。書類を入国管理局に出したあとあちらから連絡が無く、局長さんが訪問してみたら、手続きが進んでいない状況でした。局長さんの奮闘によりビザが発行されました。感謝、感謝です。7月からお仕事を頑張ろうと思います。



小学校での出会い

5月の半ばから、施設内の小学校を夕方に訪問するようになりました。子供達とスワヒリ語でお話するためです。先天性の身体障害のある子、感染症により麻痺やてんかんの後遺症が残った子、そして、タンザニアでは人身売買の被害にあいやすい色素欠乏症(アルビノ)の子が暮しつつ学んでいます。敷地内で子供達は元気に遊び、いつ行っても話しかけてくれます。長期休みに帰省したら、両親の手伝いをしたいそうです。敷地外での生活の様々な困難が思われ、でも今は何も出来ず…いずれ、少しでも子供が楽しく暮す役に立てたら良いなと思いました。

日本関係の施設を訪問しました

学校がお休みの期間に、お世話になる日本大使館、JICA(日本の国際協力機構)、保健省、国立ムヒンビリ病院などの医療関係の方をたずねました。今後のお仕事と生活に役立ちそうな情報を色々いただき、繋がりも出来て心強いです。

そして、保健省と病院で、日本人の男性看護師さんに2人も会いました。金井さんはとりわけ嬉しそうです。JICAにはJOCSの会員さんもおられました。またタボラまで視察に来てほしいです。





Mama Patricia(看護師さん)と



勉強会の日、綺麗にしている皆さん

診療所の看護師さん

放課後に、小学校付属の診療所に、スワヒリ語の医療用語を知りたくて、顔を出すようになりました。診療所の看護師さんは、初対面のときは、突然来た私を見て不審気で、私は外国人だし、医者だし、あまり歓迎されないのかも…と落ち込みました。その後、診療所への訪問許可をもらいに行った小学校の校長先生が、「この人は救世軍の敷地に住んで勉強して、子供達とも話しているし、教会でも歌っている人だから大丈夫」と彼女に推薦してくれました。それから、看護師さんが笑顔を見せてくれるようになりました。ここのコミュニティの人から信用してもらえたのが、嬉しかったです。その後、この看護師さんには、スワヒリ語の問診や処方書の書き方を教えられたり、子供の健康についての勉強会に参加させていただいたりなど、お世話になっています。

サバンナの絵を買ったら教会へ

父の古希の祝いに、タンザニアのサバンナの絵を贈ることになり、ある週末に町中に買いに行きました。梱包と発送が大変だと思ったので、国立博物館のミュージアムショップで絵を買って、発送の代行をお願いします…はずでしたが、なかなか思ったようにはいかず、結局発送するまでに3週間かかりました。その間のやりとりなどで、ショップの店員さんと仲良くなりました。彼女はタンザニアのAOGの教会員だったので、彼女の教会に連れて行ってもらい、懐かしい賛美歌をスワヒリ語で学ぶ機会を得ました。こちらの礼拝は日本に増して賑やかですね。



教会の聖歌隊の方と



絵は無事日本へ届きました！

タンザニアでも歌っています

5月半ばから、寮の目の前の教会で、週3回(!)青年部が行っている賛美歌練習にも参加しています。スワヒリ語の歌の歌詞と意味を書き起こしてもらったり、私が分かるまでゆっくり話してくれたり、タンザニアの人は優しいなあと思います。先週は、礼拝で、一部だけスワヒリ語の賛美歌を歌いました。言葉の意味を分かって、こちらの人と心を合わせて歌えると、遠くアフリカに来て、祈りや賛美には通じるものがあると思えて、励まされる気がします。

今後の予定

6月15日 ダルエスサラームでの病院実習開始

7月1日 タボラ州へ移動、仕事を開始予定



教会の青年部の Elizabeth と